

ロシア留学を終えて

情報文化学科 2年 木下内 雅斗

私は2014年8月27日から12月23日まで、ロシアのウラジオストクにあるウラジオストク国立経済サービス大学（ВГУЭС）へ、約4ヶ月間語学留学をしてきました。まず、私がロシア留学を希望した理由は、単純に語学留学をしてみたいというのと、ロシアという近いようで遠い存在である場所に行ってみたいというのでした。1年生の後期からロシア語の勉強を始めて約1年間しか勉強をしなかったのが、留学へ行く前は楽しみよりも不安が募っていました。でも、今思い返すと留学は本当に良い経験になったと思います。

<寮での生活>

私たちの寮は、ウラジオストクの中心部からバスで10分くらいした場所にありました。国際情報大学の留学生は全員同じ階のところに住みました。同じ階には、私たち以外にも大学で勉強しているロシア人や、他の国の留学生が住んでいました。

まず、最初にロシアに来て洗礼を受けたのが、寮に住み始めての約2週間はシャワーのお湯が出なかったことです。それまでは寮から歩いて同じ敷地内にあるスポーツセンターのシャワーを使っていました。

食事は、朝はシリアルを食べるのが大半でした。昼食は学校の近くにあるお店で買っていました。そこはピロシキやハンバーガーなど色々な食べ物を買えるので、とても便利で店員さんと仲良しになるくらい買いました。夕食は寮の同じ階にキッチンがあり、そこを共同で利用しました。ほぼ、毎日自炊をしました。他の部屋の人と一緒にご飯を作ることもありました。キッチンは同じ階のロシア人や留学生が使うので、たまに会うとそこで一緒にしゃべることもありました。

Wi-Fiは最初、学校の中にあるフリーWi-Fiを使っていたのですが、ある日から急に使えなくなり約1週間使えませんでした。その後は、大学のWi-Fiを買うことで使うことができるようになりました。

寮の中では、みんな同じ階だったので、一つの部屋に集まってみんなでおしゃべりをしたり、勉強をお互い教えたりしました。留学では、このようにみんなで色々なことができるのが魅力的です。



<日常生活>

最初のほうは、ロシアで私たちのお世話係である森さんと一緒にスーパーや市場などに行ったりしました。初めてスーパーで買い物をした時は森さんから注意点や買い物の仕方などを教えてもらい、なんとか買えましたが店員さんが何を言っているのかまったくわかりませんでした。スーパーでは、お肉が塊のまま売られていたり、野菜が袋に入っておらずそのまま置いてあったりと日本ではないことばかりでした。市場では、野菜やお菓子などがたくさん売っており、スーパーで売っている野菜よりも安いので、とても便利でした。市場の人は何かわからない時に、私たちに簡単な単語で何かを説明してくれるのでとても優しかったです。市場の人とは対照的に、スーパーの店員さんはほとんど無表情で、細かいお金を出さないと嫌な顔をされるので、最初は恐かったです。なので、常に細かな小銭を持っておいたほうがいいです。留学の終わりごろには、ちょっとですがコミュニケーションが取ることができるようになりました。

休日になると、自分たちで中心地まで行って買い物をしたり、街並みを楽しんだりしました。大学の授業が終わり、帰国準備にあたる日にはほぼ毎日出かけてウラジオストクを楽しみました。



<ウラジオストク>

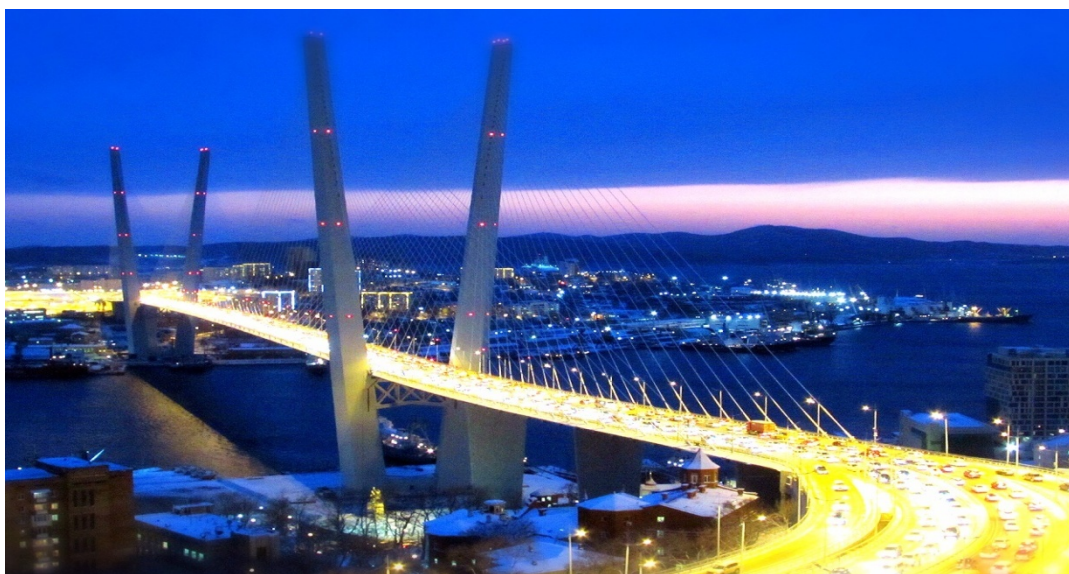
ヨーロッパ調の建物が中心地に行くによく目に入りました。休日の晴れている日には、多

くのロシア人や旅行者などで道がいっぱいになります。時々、中心地にある中央広場ではイベントが開催されており、とても賑やかです。冬になると、大きなクリスマスツリーが飾られるのでおすすめです。

交通手段は基本的に、徒歩かバスでした。バスは一律 18 ルーブルと安いので、よく利用していました。そして、ウラジオストクは本当に坂道が多かったです。寮から近いスーパーへ行くのも一苦勞でした。そして、ウラジオストクは車の数が本当に多かったです。朝は通勤ラッシュで毎日渋滞していました。

休日の日には、バスと歩きでルースキー島という島へ行ったりもしました。この島には、去年まで先輩たちが語学留学をしていた大学の極東連邦大学（ДВФУ）があります。中心地と違い、とても静かで綺麗でした。

ちなみに、私がおすすめするウラジオストクの絶景スポットは、大学から坂道を上ると、展望台があります。そこからは、ルースキー島へ行く際に通る橋や、港を見ることが出来ます。夕方は夕日が海岸線に消える景色が見えて、夜は街の明かりや車の明かりなどでとても綺麗です。展望台には、お土産屋さんもあるのでお土産を買うことも出来ます。



<気候>

8月と9月は半袖でいられるくらい暑かったです。私は最初、ロシアの気候になれず、鼻がやられました。10月は入った途端に寒くなります。11月から12月は寒さが本格的にやってくる、寒い時は風と一緒に雪が降り、顔が痛くなるほどの寒さになりました。寮の中は、暖房がついているためとても暖かいです。私が住んだ部屋はちょっと暑いくらいでした。しかし、部屋によって、暖房はついているけど寒い部屋もありました。

天気は、ほとんど晴れかくもりが多く、雨は滅多に降らなかったです。夏の間は、乾燥するので気をつけたほうが良いと思います。私たちが行った時はたくさん雪が降り学校が休みになることがありました。服は現地のを買うと暖かく、値段も比較的安い店もあるのでおすすめです。

<授業>

9月の初めから授業があり、最初は日本人だけのクラスでしたが、先生がロシア人でまったく日本語がしゃべれないので、すべてロシア語で行われました。先生が何をしゃべっているかわからず、とても大変でした。なので、最初はひたすらわからない単語を辞書で引いて、自分なりの単語帳を作りました。そして、なるべく授業で発言することも心掛けました。

9月の中旬からは3つのクラスに分かれて、ロシア語を勉強している留学生たちと一緒に授業を行いました。私のクラスは、日本人のほかに中国人や韓国人、フィリピン人の留学生がいました。中には、ロシア語習い始めて約3ヶ月で私たち以上にロシア語をできる人がいました。しかも授業のスピードが速いのでついていくのに必死でした。でも、日常的にロシア語を聞いて、わからない単語を自分なりに簡単に覚えるようにするとわかるようになってきました。また、授業では毎日宿題が出され、勉強しなければならないので、それが勉強するきっかけにもなったのでよかったです。そして、他の留学生とロシア語でコミュニケーションを取るのとはとても大事なことだと感じました。ジェスチャーをしながら、自分がわかる単語で説明するのは大変でしたが、英語を使ってコミュニケーションを取ることもありました。

授業は文法のほかに、会話やリスニング、ロシアの地理や歴史、ロシア音楽や美術も学びました。会話の授業では、実際に会話中で使えるロシア語をクラスの人と一緒に練習したりしました。この会話練習で他の留学生としゃべるきっかけになったと思います。最後のほうの授業では、日本の季節やお正月について紹介がありました。日本から近いロシアでも、日本の浴衣やお正月については知りませんでした。日本の魅力が伝わってよかったと思います。

ロシア音楽では、授業中に歌を歌い、ロシアの伝統楽器の演奏もしました。そのロシア音楽の最初の授業で先生に言われたのが、12月19日に発表会をするというのでした。言われた時はまだ先だったので気にしてなかったのですが、本番が近づくにつれ本格的に練習をしました。発表会の前に、毎年12月に ДВФУ で行われている国際交流フェアで2曲演奏を

行いました。とても緊張しましたが楽しく演奏することができました。本番の発表会では、日本人全員がロシアの伝統衣装を身にまとい、全 6 曲の歌や楽器を演奏しました。とても良い思い出になりました。

他には課外授業として、博物館へ見に行ったり、大学の留学生を対象とした遠足がありました。遠足では、電車で海に近いバーベキューができるところへ行きました。その日は風が強く寒かったので、先生たちが考えた遊びで体を温めたり、チームに分かれてゲームをしたりと留学生と交流が深められたのでよかったです。

他の課外授業で印象に残っていることは、ロシアの船である Надежда に乗せてもらったことです。そこで Надежда の掛け声みたいもので、『Надежда!Россия!!Владивосток!!!』『Ура!Ура!!Ура~!!!』というのをしたのですが、それがとても楽しくて今でも忘れられません。



<最後に>

最初はちゃんと勉強できるか、語学力はしっかりつくかとても不安でしたが、語学留学を終えて感じることは何事にも挑戦は大事ということです。語学留学という、自分自身への挑戦があったからこそ留学がとても楽しく感じ、楽しく勉強ができました。また、人見知りの自分にとって授業で積極的に発言をし、他の留学生に話しかけることができるようになったのもこの留学のおかげだと感じます。そして一番成長できたと思うのは、ロシア語の上達だと思います。最初はほとんど会話もできないし、書くことも簡単な単語などしかできませんでした。しかし、毎日ロシア語を耳にし、授業で習ったことを単語帳にすることで、確実に以前より単語が書けるようになったし、ロシア語を聞き取れるようになりました。しかし、まだロシア語は習ってない部分が残っているので、これからもっとロシア語を勉強して、この留学経験が無駄にならないようにしていきたいです。

語学留学を行こうかどうか迷っている方は、行くことを絶対におすすめします。留学へ行くと最初の2ヶ月は1日1日が長く感じられます。それほど、内容が濃い生活になっているからです。しかし、あとの2ヶ月は本当にあっという間です。留学は、滅多にできないことです。お金はかかってしましますが、その値段以上に価値は十分あると思います。

最後に、一緒に留学へ行った留学メンバーや、ロシアで本当にお世話になった森さんを始め、両親や先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



Большое Спасибо!!!